

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2024年度)

施策コード	21
-------	----

まちづくりの方針	2 教育・文化・人権
施策	1 学校教育
施策のめざす姿	家庭・地域・学校が連携し、確かな学力を身につけた心豊かな子どもが育っています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
将来の夢や目標を持っている子どもの割合(%)【学校教育課】 (上:小学校、下:中学校)	83.2 68.7	79.2 66.4	76.0 61.2	81.3 65.8			85.0 71.0	90.0 74.0

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 特色ある教育の推進【重点】	学校教育課	特色ある様々な取り組みを実施し、家庭・地域・学校が連携し、確かな学力を身につけた心豊かな子どもが健やかに育っている。 郷土への誇りや愛着を育むとともに、地域の宝として後世に大切に継承者になってもらえるよう、家庭・地域・学校が連携し、子どもの健やかな育ちを支援することに取り組んでいく。
2 心の教育推進	学校教育課	迎え入れる形の支援体制からアウトリーチ型の支援体制の構築を進めた。校内教育支援センター(ほっとルーム)を中学校2校へ設置した。 障がい児童生徒への支援充実を含めた心の教育を推進していく。
3 安全・安心な教育環境の整備	学校教育課	学校施設長寿命化計画にしたがい、事業を推進した。 持続可能な施設の維持管理、改築を計画的に行っていく。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	評価
	達成状況	家庭・地域・学校が連携し、確かな学力を身につけた心豊かな子どもが健やかに育っている。
施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	大きく変化する社会情勢に対応するために、長期的な展望のもとで、持続可能な方針を定め、将来に備えて今から準備をする必要がある。学校施設の老朽化対策、国際理解教育の充実、不登校対策や就学前相談など心の教育への支援の強化、ICT教育の推進、外国籍児童生徒への日本語教育など多様化する市民ニーズなどに適切に対応するための中長期的な教育方針を定め、事業継続に取り組むとともに、次世代につながる取組を推進していくことが必要と考える。	方針
		継続